

Genie®

操作説明書
メンテナンス情報付属

Second Edition
First Printing
Part No. 82799JA

DPL™-25S
DPL™-30S
DPL™-35S

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。
トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
安全規則 1
操作 7
説明 8
操作前の点検 9
メンテナンス 11
機能テスト 14
作業場の点検 17
操作手順 18
バッテリーと充電器の操作手順 21
輸送およびリフトの手順 22
ステッカー 24
仕様 28

お問合せ先：

インターネット：http://www.genieindustries.com
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 1996 Genie Industries

初版： 初刷 2002年 4月

第 2 版： 初刷 2003年 11月

「Genie」および「DPL」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。「Super Series」は Genie Industries の商標です。

再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

☑ 本機械を使用するにあたって初めてセットアップを行うとき、ブリーザーキャップが取り付けられている。ブリーザーキャップについての指示は「操作前の点検」のセクションを参照してください。

安全規則

転倒の危険



ベースが水平で、4 つのアウトリガーすべてが適切にセットアップされ、ジャッキがしっかりと地面に接触していない限り、作業台を上げないでください。

作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。

作業台を使用してるとき、あるいは作業台が上がっているときは、アウトリガーを調節したり取り外したりしないでください。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。



機械が水平な状態にある場合以外は作業台を上げないでください。アウトリガーのみを使って機械を水平な状態にできない地面では、機械を設置しないでください。

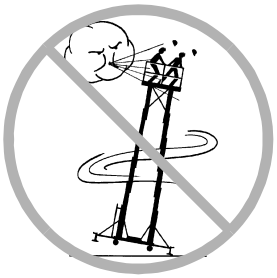
作業台にはしごや足場を組まないでください。 また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

作業台の外側の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大外圧力	400 N

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台や積載床面の表面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。





作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載重量 - DPL-25S	
ANSI および CE	340 kg
CSA	272 kg
最大定員	2
最大積載重量 - DPL-30S	
ANSI および CE	340 kg
CSA	272 kg
最大定員	2

最大積載重量 - DPL-35S	
ANSI および CE	272 kg
CSA	227 kg
最大定員	2

急に低くなっているところ、くぼみ、でこぼこした道、障害物がある場所、不安定な地面、滑りやすい表面、あるいは他の危険な状態の近辺では機械を操作しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。 機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。 Genie 承認の交換部品を使用してください。

フォークリフトや他の輸送車両を使って機械を移動するときは、作業台を完全に下げ、手摺りを下ろし、機械の電源を切り、作業員が作業台を降りてから行ってください。

製造元の書面による許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積載床面の表面を増大させます。

落下の危険

手摺りは落下防止用です。作業場規約や従業員規約により作業員が作業台で落下防止装備（PFPE）を着用しなければならない場合、PFPE の装備と使用方法については PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従ってください。



作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

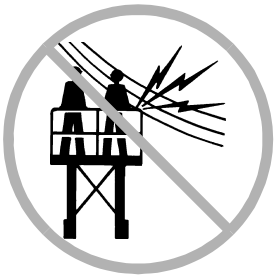
作業台に入ったり作業台を上げる場合は、必ず作業台側方手摺りを垂直にロックし、作業台後方手摺りと作業台出入口ゲートを閉めてラッチで留めてから行ってください。

作業台が上昇しているときに作業台から降りないでください。電源障害が起きた場合は、地上の作業員により手動降下バルブを作動してください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

安全規則

感電の危険



この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。

機械が通電している電線に接触していたり帯電している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧	安全を確保するための最低距離
範囲	メートル
0～300V	接触を避ける
300V～50KV	3.05
50KV～200KV	4.60
200KV～350KV	6.10
350KV～500KV	7.62
500KV～750KV	10.67
750KV～1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

AC 電源使用の機械や DC バッテリー充電器を操作する場合は、接地した AC 回路に接続したアース付 3 ピン延長コードを必ず使用してください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能な状態にしないでください。

衝突の危険

作業員は、安全装備に関して従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。

作業台の側方の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。

斜面上を輸送する場合は注意して行ってください。

下降している作業台には近づかないでください。

部品の損傷の危険

ブリーザーキャップが作動油容器に取り付けられていない状態で機械を操作しないでください。ブリーザーキャップについての指示は「操作前の点検」のセクションを参照してください。

機械を溶接するときの電気アースとして使用しないでください。

DC モデル：バッテリー残量が少なかったりほとんど充電されていないバッテリーを使って機械を操作しないでください。

誤った使用による危険

関係者以外による使用をさけるため、機械から離れる際はキーを取り外してください。

故障機械の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

各作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と Genie DPL サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

カバーされている部品に不適切に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、これらのコンパートメントについては作業前の点検だけを行ってください。機械の操作中、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。

安全警報シンボルー作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

⚠DANGER 赤ー差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠WARNING オレンジー危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠CAUTION 安全上の警告シンボルを伴った黄色ー危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

CAUTION 安全上の警告シンボルがない黄色ー危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は物的損害が発生することがあります。

NOTICE 緑ー操作情報またはメンテナンス情報を示します。

安全規則

バッテリーと充電器の安全 - DC モデル

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。





バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険



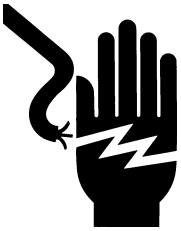
バッテリーは爆発性ガスを放出します。火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。

バッテリーの充電は、よく換気された場所で行ってください。

充電器がオン状態のときは、バッテリーから充電器 DC 出力配線を外さないでください。

ベースカバーのスライドドアは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けたままの状態にしてください。

感電の危険



充電器は、接地されている AC 回路にのみ接続してください。

バッテリーや充電器を水や雨にさらさないでください。

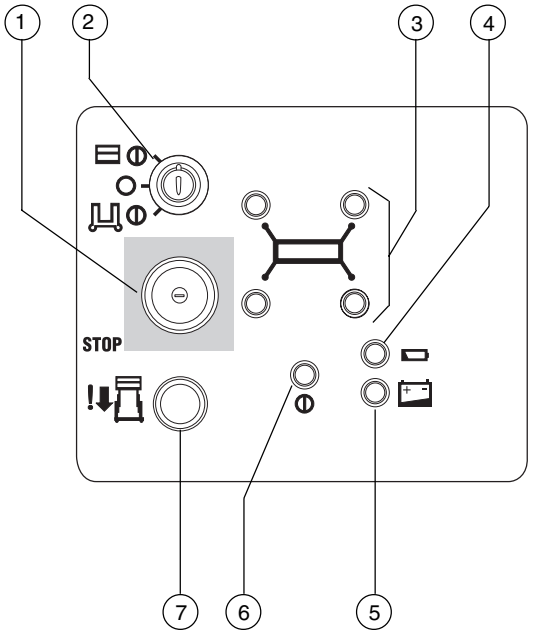
使用する前に破損している箇所がないか点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

リフトの危険

バッテリーパックの重量は 48 kg です。 バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数の作業員と正しい手段で行ってください。

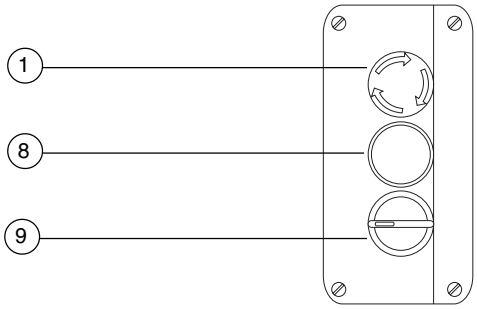
操作

地上操作



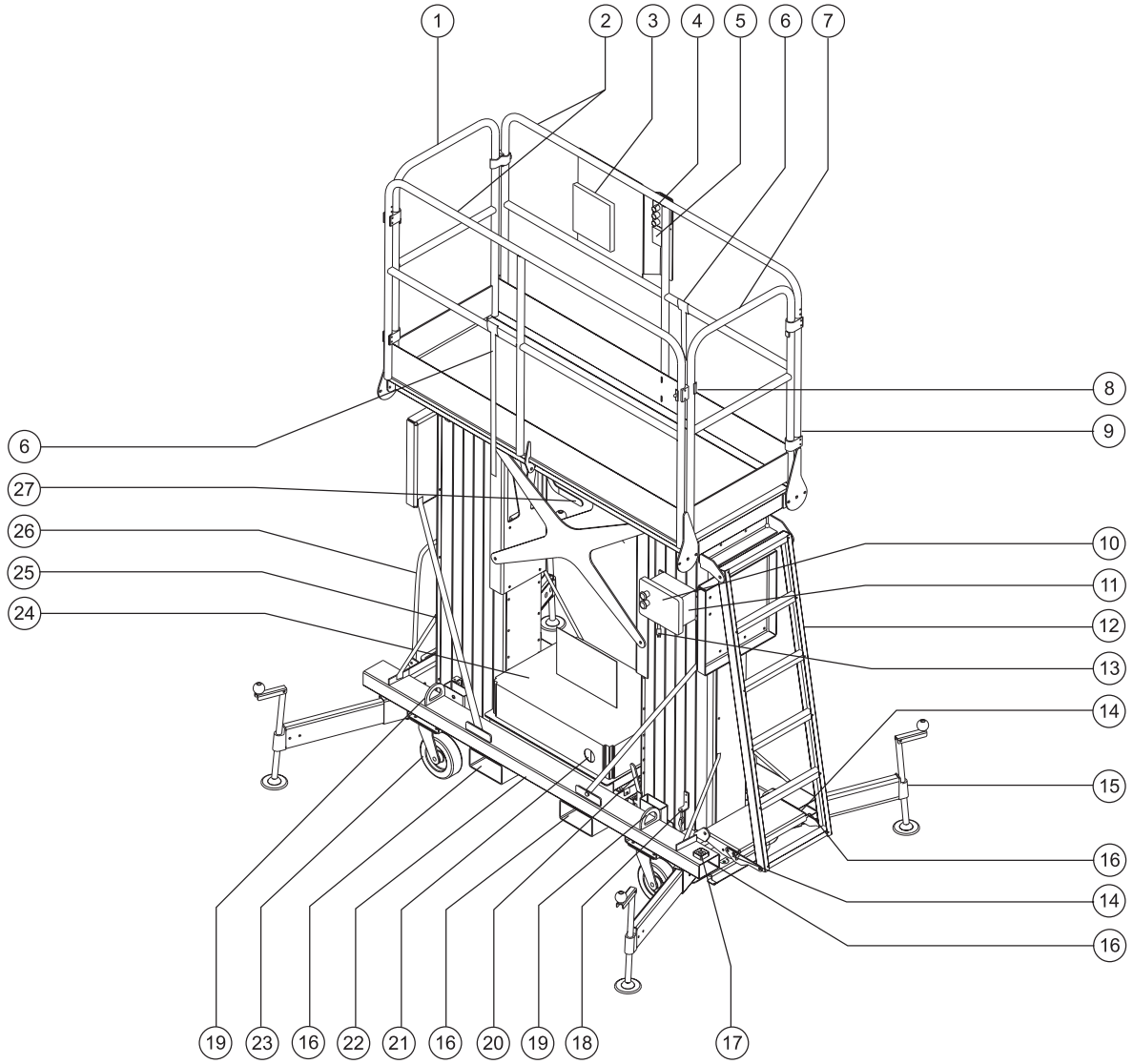
1 赤色非常停止ボタン
2 キースイッチ
3 アウトリガー インターロックランプ（4）
4 補助下降用バッテリー低下表示ランプ

作業台操作



5 DC モデル：バッテリー低下表示ランプ
6 電源ランプ
7 補助作業台下降ボタン
8 制御作動ボタン
9 上下スイッチ

説明



1 作業台後方手摺り
2 作業台側方手摺り
3 マニュアル保管コンテナ
4 作業台操作
5 AC コンセント
6 手摺りリフトアーム
7 作業台出入口ゲート
8 作業台後方ゲートラッチ
9 作業台
10 インターロック表示
11 AC モデル：回路ブレーカー
12 作業台出入口用はしご
13 AC モデル：機械の電源
DC モデル：作業台への AC 電力
14 作業台出入口用はしごロックピン
15 アウトリガーとジャッキ
16 フォークリフト ポケット
17 水準器
18 シークエンスケーブル
19 輸送用の荷締め
20 手動下降レバー
21 バッテリー充電器用プラグ
22 ベース
23 キャスターと旋回ロック
24 ベースカバー
25 マスト
26 ステアリングハンドル
27 作業台手摺りロックハンドル

操作前の点検

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

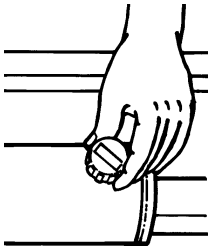
4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

ブリーザーキャップ - AC モデルと DC モデル

ブリーザーキャップを取り付けないで機械を操作すると機械のコンポーネントが故障します。

本機械を初めて使用するにあたりセットアップを行うとき、バッテリーカバーの下にある作動油容器のパイププラグを取り除いて、替わりにブリーザーキャップを取り付けてください。



ブリーザーキャップは、機械のマストに貼り付けられている袋に入っています。

原則

操作前の点検と規定のメンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみ行なうことができます。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

もし損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。

❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。

❏ バッテリー液の漏れがないこと、量が適当であることをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❏ 電気部品と配線
- ❏ コイルコード (装備する場合)
- ❏ 油圧ユニット、ホース、フィッティング、シリンダー
- ❏ 手動下降レバー
- ❏ 作業台後方手摺り、作業台側方手摺り、作業台出入口ゲート
- ❏ 手摺りロックハンドル
- ❏ シークエンスケーブルと滑車
- ❏ リフトチェーンとアイドラーホイール
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ マストとマスト締め金
- ❏ ブリーザーキャップ
- ❏ アウトリガー、ジャッキ、フットパッド
- ❏ 手摺りリフトアーム
- ❏ 作業台出入口用はしご

機械全体をとおして下記をチェックします :

- ❏ へこみや損傷
- ❏ 腐食や酸化
- ❏ 溶接や機械部品の割れ

❏ バッテリー端子とバッテリーの配線すべてを点検し、きれいにします。

❏ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

- ☑ オペレータは、この説明書に記載してある通常のメンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意

以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために本マニュアルで使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

メンテナンス

バッテリーのチェック - DC モデル

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために非常に重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

⚠ 警告 人体への障害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意 このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリー通気孔のキャップをとります。

3 バッテリーの酸の量をヱェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

4 バッテリー通気孔のキャップをつけ直します。

作動油量の点検 - AC モデルと DC モデル

作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 作業台が完全に下がっていることを確認します。

2 作動油容器側面の表示計をチェックします。

◎ 結果：作動油量が、表示計の中央に見えている必要があります。このときに溢れないようにしてください。

作動油の仕様

作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

機能テスト

1 作業場の真下に機械を置きます。

2 適切な電源に接続します。
DC モデル：バッテリーパックを接続します。
AC モデル：接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。13 m 以下の12ゲージ/3.3 mm^2 アース付 3 ピン延長コードを使用してください。

3 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。

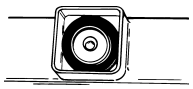
4 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果：電源ランプが点灯します。

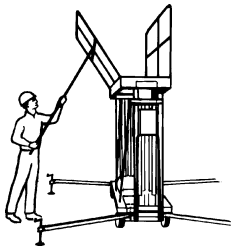
5 アウトリガーをそれぞれ取り付け、機械が水平になるようジャッキを調節します。アウトリガー以外を使用して機械を水平にしないでください。

6 地上操作で 4 つのインターロックランプがすべて点灯していることを確認します。

7 水準器を使って、機械のベースが水平になるようジャッキを調節します。



8 作業台手摺りのロックハンドルを回して作業台側方手摺りを垂直に立てます。側方手摺りが正しい位置に収まるようにしてください。もう一方の手摺りも同じように立てます。



9 はしごのロックピンを引き、はしごを回転して下げます。はしごが正しい位置に収まるようにしてください。

10 はしごを使って作業台に上がります。作業台出入口ゲートと作業台後方手摺りを閉めてラッチをかけます。

非常停止のテスト

11 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。

12 地上操作で赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

13 制御作動ボタンを押したままで、上下スイッチを任意の走行方向に回します。

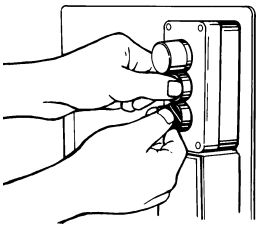
⊙ 結果：上昇下降機能は作動しません。

14 作業台操作で赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

15 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

16 制御作動ボタンを押したままで、上下スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果：上昇下降機能は作動しません。



機能テスト

アウトリガーインターロックのテスト

17 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。

18 制御作動ボタンを押したままで、上下スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果：上昇下降機能が作動します。

19 ひとつのジャッキを対応するインターロックランプが消えるまで緩めます。

20 制御作動ボタンを押したままで、上下スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果：上昇下降機能は作動しません。

21 ジャッキを元に戻し、水準器をチェックします。

22 各アウトリガーにこの手順を繰返します。

補助作業台下降のテスト - AC モデルと DC モデル

23 作業台を少し上昇させます。

24 電源を機械から外します。

25 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

26 地上操作で補助作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果：作業台が下降します。

27 電源を機械に接続し直します。

28 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

29 作業台を約 15 cm 上げます。

30 電源を機械から外します。

31 制御作動ボタンを押したままで、上下スイッチを下の方向に回します。

⊙ 結果：作業台が下降します。

32 電源を機械に接続します。

手動降下のテスト

33 作業台を少し上昇させます。

34 手動降下レバーを作動します。

⊙ 結果：作業台が下降します。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 機械を水平に調整できる範囲を超える坂
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他に起こる可能性のある危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各側面ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順にすべて従うことはオペレータの任務です。

人や工具を高所作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが機械を操作することができます。2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順すべてに従がわなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

セットアップ

1 作業場の真下に機械を置きます。

2 適切な電源に接続します。
DC モデル：バッテリーパックを接続します。
AC モデル：接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。13 m 以下の12ゲージ/3.3 mm^2 アース付 3 ピン延長コードを使用してください。

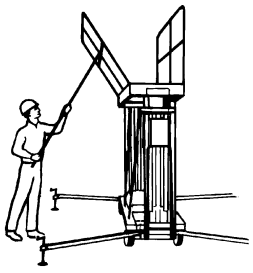
3 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。

4 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。電源ランプが点灯していることを確認します。

5 アウトリガーを取り付け、機械が水平になるようジャッキを調節します。水準器を使って機械を水平にします。

6 地上操作で 4 つのインターロックランプがすべて点灯していることを確認します。

7 作業台手摺りのロックハンドルを下に引いて作業台側方手摺りを垂直に立てます。側方手摺りが正しい位置に収まるようにしてください。もう一方の手摺りも同じように立てます。



8 はしごのロックピンを引き、はしごを回転して下げます。はしごが正しい位置に収まるようにしてください。

9 はしごを使って作業台に上がります。作業台出入口ゲートと作業台後方手摺りを閉めてラッチをかけます。

非常停止

1 作業台操作あるいは地上操作で赤色非常停止ボタンを押し、上昇機能を停止します。

作業台の上昇と下降

1 赤色非常停止ボタンを回して解除します。

2 制御作動ボタンを押したままで、上下スイッチを任意の走行方向に回します。

操作手順

手動下降

1 手動降下レバーを作動します。

補助作業台下降 - AC モデルと DC モデル

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

2 地上操作で補助作業台下降ボタンを作動します。

作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点灯します。機能は何も作動しません。作業台操作でアラームが鳴ります。

機能を作動する前に機械をリセットする必要があります。

機械をリセットするには :

1 作業台の負荷を軽減します。

2 作業台操作で赤色非常停止ボタンを押して回し、解除します。

3 機械を操作します。作業台の負荷が定格積載荷重量を超えていない場合、機械が作動します。

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規約や従業員規約で義務付けられている場合、以下が適用します。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、製品使用説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。

3 DC モデル : バッテリーを充電します。

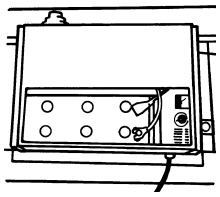
バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧で充電してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーを充電するには：

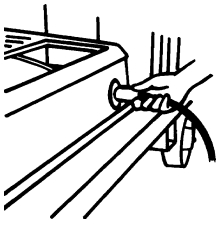
1 充電器とバッテリーにアクセスできるよう、バッテリーカバーをスライドして開けます。カバーは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておく必要があります。



2 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。充電の前には入れすぎないでください。

3 バッテリー通気孔のキャップをつけます。

4 充電器を、充電器に明記されている電圧とアンペアで、接地されているコンセントに接続します。



5 使用時間に応じてタイマーをセットします：

少し使用する場合（リフト 15 サイクル未満)：7 時間に設定。

多く使用する場合（リフト 15 サイクル以上)：オンに設定します。

6 設定した時間が経過すると、充電器は自動的に切れます。

注記：最初の 15分以内で電流計が 3A 以下に下がった場合、バッテリーは完全に充電されています。

7 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液 (電解液) を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎた場合、充電中にバッテリー液が溢れることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップをつけます。

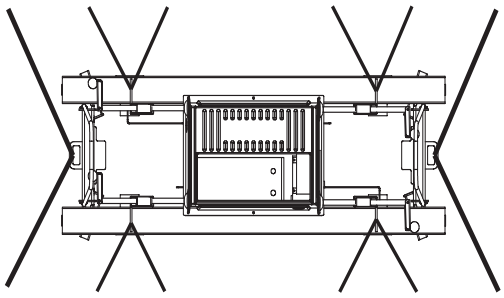
4 バッテリーを 7時間、または充電器の電流計が 3A 以下を指すまで充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。

輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは、常識的な判断と手順をもって機械の動きを制御してください。
- ☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 輸送車両の最大積載荷重量、積載機材、積載面が機械の重量を支えることができることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ 機械の重量に十分に耐えることができるチェーンまたはストラップを使用して、輸送車に機械を固定してください。



フォークリフトによる機械の積載

1 作業台を下げます。

2 作業台側方手摺り、作業台後方手摺り、作業台出入口ゲートを下げます。側方手摺りを荷締めストラップで固定します。

3 地上操作と作業台操作の赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフにしてキーを取り外します。

4 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか機械全体を点検します。

5 機械の側面にあるフォークリフト ポケットを使用します。

ウィンチを使って機械をトラックの平台に上げる

1 作業台を下げます。

2 作業台側方手摺り、作業台後方手摺り、作業台出入口ゲートを下げます。側方手摺りを荷締めストラップで固定します。

3 地上操作と作業台操作の赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフにしてキーを取り外します。

4 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか機械全体を点検します。

5 ベースにあるウィンチ箇所（荷締め位置）にケーブルを取り付けます。

6 慎重に機械をトラック上にウィンチします。

7 機械のベースとマストを輸送車両にしっかりと固定します。チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

重力の中心	X 軸	Y 軸	Z 軸
DPL-25	1.03 m	34.3 cm	83.6 cm
DPL-30	1.03 m	34.3 cm	83.8 cm
DPL-35	1.03 m	34.3 cm	84.1 cm

必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リフトおよびリギングを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやラインが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

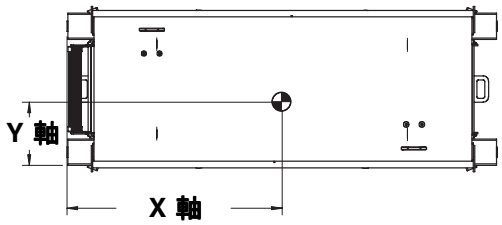
リフトの手順

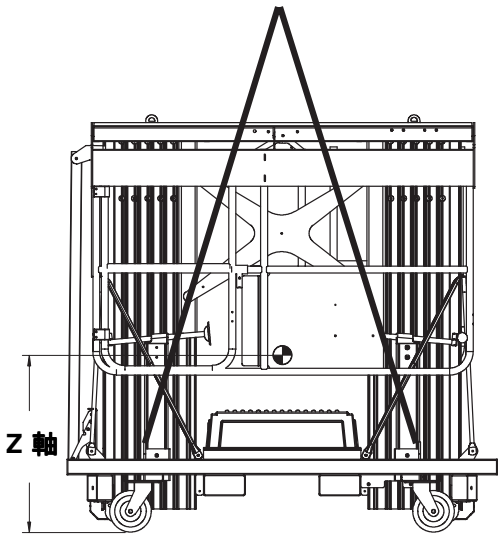
作業台を完全に下げます。操作盤やカバーが固定されていることを確認してください。機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

このページの表と図を使って機械の重力の中心を確認してください。

指定されている機械の吊り上げ点にのみリギングを取り付けます。吊り上げ点は、機械の両側にそれぞれ 2箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保つためにリギングを調節してください。





ステッカー

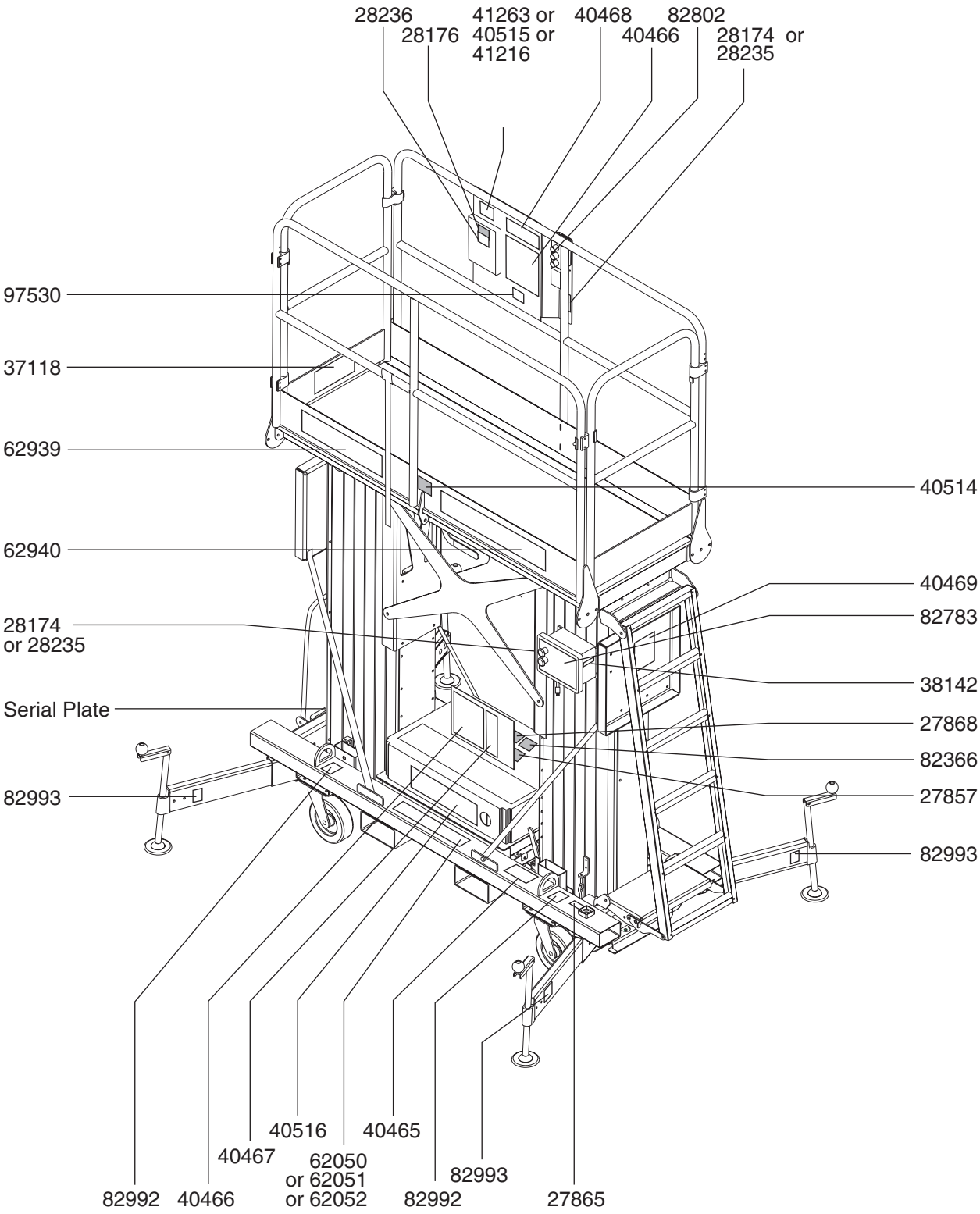
警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
27857	Caution - Component Damage	1
27865	Label - Bubble Level	2
27868	Danger - Tip-over, Relief	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28176	Notice - Missing Manuals	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read	1
37118	Warning - Bodily Injury Hazard	1
38142	Label - Circuit Breaker, AC models	1
40465	Notice - Manual Lowering Lever	1
40466	Danger - General Safety	2
40467	Notice - Operating Instructions, Ground	1
40468	Notice - Operating Instructions, Platform	1
40469	Danger - Tip-over/Fall Hazard	1
40514	Warning - Guard Rail Lock Handle	2
40515	Notice - Max Capacity 600 lbs / 272 kg, ANSI, CSA	1
40516	Danger/Notice - Battery Safety & Charger Instructions	1

Part No.	Description	Quantity
41216	Notice - Max Capacity 750 lbs / 340 kg, ANSI and CSA	1
41263	Notice - Max Capacity 500 lbs / 227 kg, ANSI and CSA	1
62050	Cosmetic - DPL-25S	2
62051	Cosmetic - DPL-30S	2
62052	Cosmetic - DPL-35S	2
62939	Cosmetic - Genie Logo	2
62940	Cosmetic - DPL Super Series Logo	2
82366	Label - Chevron Rykon	1
82783	Interlock Display - AC and DC Models	1
82802	Label - Control Activate	1
82992	Label - Wheel Load	4
82993	Label - Outrigger Load	4
97530	Notice - Max Manual Force	1

ステッカー


28236
28176
41263 or
40515 or
41216
40468
40466
82802
28174 or
28235
97530
37118
62939
40514
62940
40469
82783
28174
or 28235
38142
Serial Plate
27868
82366
82993
27857
82993
40516
40465
40467
62050
or 62051
or 62052
82993
82992
40466
82992
27865

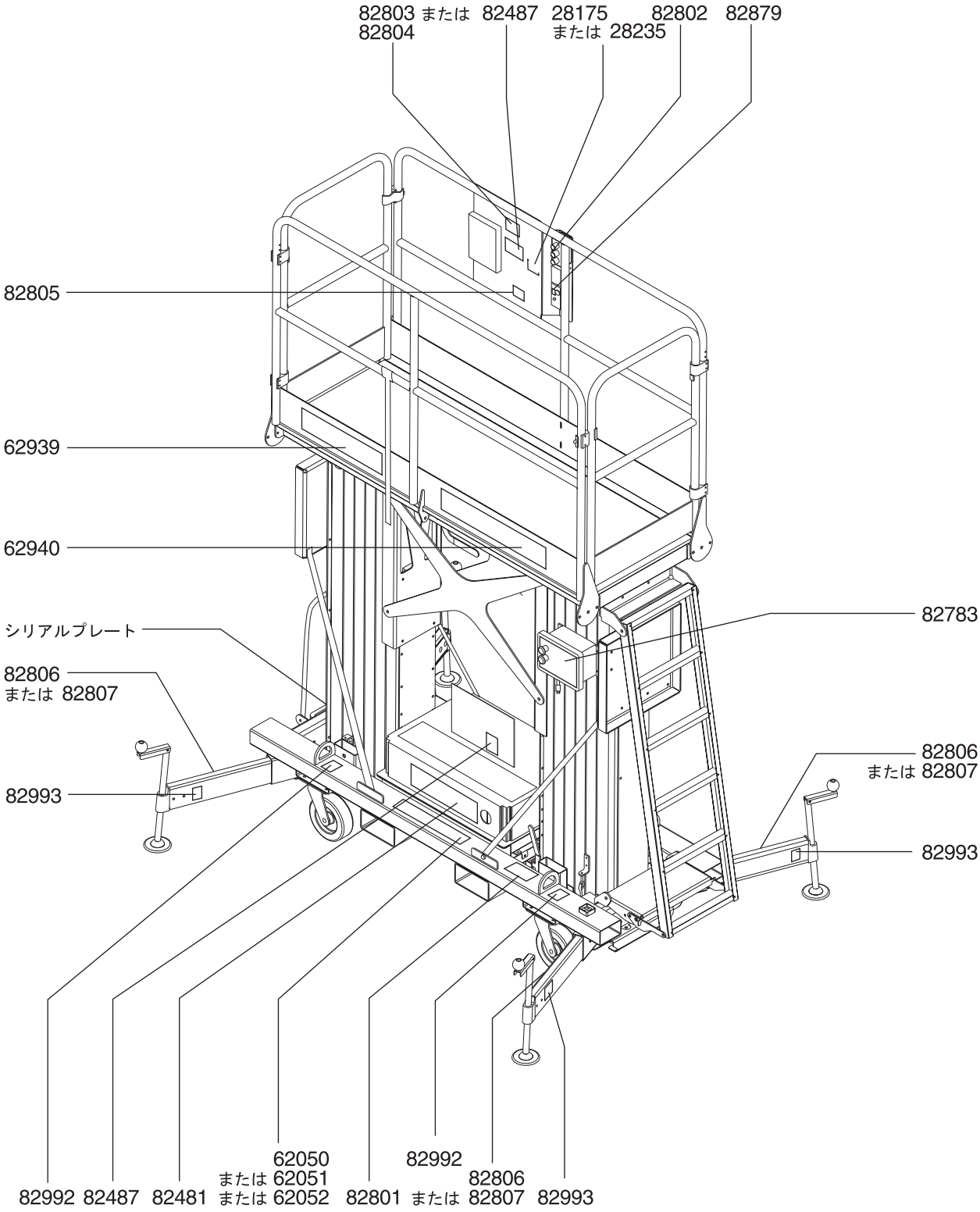
ステッカー

シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
28174	ラベル - 作業台への電力 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力 115V	2
62050	外装 - DPL-25S	2
62051	外装 - DPL-30S	2
62052	外装 - DPL-35S	2
62939	外装 - Genie ロゴ	2
62940	外装 - DPL Super Series ロゴ	2
82481	危険 - バッテリーの安全	1
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82783	インターロック表示 - AC モデルと DC モデル	1
82801	ラベル - 手動下降レバー	1
82802	ラベル - 制御作動	1
82803	危険 - 最大積載量、272 kg	1
82804	危険 - 最大積載量、340 kg	1
82805	危険 - 最大外圧	1
82806	ラベル - 51 cm アウトリガー、CE	4
82807	ラベル - 66 cm アウトリガー、CE	4
82879	ラベル - 作業台過負荷	1
82992	ラベル - 輪荷重	4
82993	ラベル - アウトリガー負荷	4

ステッカー


82803 または 82804
82487
28175 または 28235
82802
82879
82805
62939
62940
シリアルプレート
82806 または 82807
82993
82783
82806 または 82807
82993
82992
82487
82481
62050 または 62051 または 62052
82801
82992
または
82806 または 82807
82993

仕様

モデル	DPL-25S	DPL-30S	DPL-35S
高さ、操作時最大	9.5 m	11 m	12.4 m
高さ、作業台最大	7.7 m	9.1 m	10.6 m
高さ、手摺り収納時	1.98 m	1.98 m	1.98 m
奥行き、アウトリガー収納時	2.07 m	2.07 m	2.07 m
幅、アウトリガー収納時	80 cm	80 cm	80 cm
アウトリガー接地面積 (奥行き x 幅)	2.1 x 1.5 m	2.3 x 1.9 m	2.3 x 1.9 m
作業台寸法 (奥行き x 幅)	1.83 m x 69.9 cm	1.83 m x 69.9 cm	1.83 m x 69.9 cm
電源			
AC	220V または 115V	220V または 115V	220V または 115V
DC	12V	12V	12V
エア式	6.9 バール @ 2.26 m^3/分	6.9 バール @ 2.26 m^3/分	6.9 バール @ 2.26 m^3/分
重量（機械の重量は、オプション構成により異なります）	シリアルプレートを参照	シリアルプレートを参照	シリアルプレートを参照
最大積載荷重量			
ANSI	340 kg	340 kg	272 kg
CE	340 kg	340 kg	272 kg
CSA	272 kg	272 kg	227 kg

周囲操作温度	-29°C ～ 57°C
騒音 標準的な作業場での最大音量 （騒音レベル）	80 dB
最大輪荷重	190 kg
最大アウトリガー荷重	264 kg

Genieでは製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

代理店：

Genie North America
Tel 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイアル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel +31 10 220 7911
Fax +31 10 220 6642

Genie Scandinavia
Tel +46 31 3409612
Fax +46 31 3409613

Genie France
Tel +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241